

四條畷市総合教育会議（平成30年度第1回）  
会議録

四 條 畷 市

1 平成30年6月20日 午後1時30分 四條畷市役所東別館201会議室において、四條畷市総合教育会議を開催する。

2 出席者

市	長	東 修平
教 育	長	森田政己
教育長職務代理者		山本博資
教 育 委 員		吉田知子
教 育 委 員		竹内千佳夫
教 育 委 員		小田みゆき

3 事務局出席者

教育次長兼教育部長	開 康成
危機統括監兼総務部長	西口文敏
総合政策部長	藤岡靖幸
兼 調 整 監	
教 育 部 次 長	上井大介
兼学校教育課長	
教育総務課長	板谷ひと美
教育部上席主幹(教育総務担当)	木村 実
兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長	
兼教育センター長	
施設再編室長兼課長	南森淳一
総合政策部次長	喜多計成
兼政策推進課長	
政策推進課主任	福井隆司

4 会議録作成者

政策推進課事務職員	伊藤李恵
-----------	------

5 案件

- (1) 学校適正配置に向けた今後の取組みについて
- (2) その他

<p>総合政策部長</p>	<p>それでは、定刻になりましたので、平成30年度第1回四條畷市総合教育会議を開催させていただきます。</p> <p>本日は、全員のご出席をいただいております。</p> <p>本日は、学校適正配置に向けた今後の取組みについて、市長と教育委員で意見交換を行うため集まっていただきました。</p> <p>それでははじめに市長から挨拶を申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>本日は公私お忙しいなかにもかかわらずお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>まず、会議に先立ちまして、6月18日発生の大阪北部地震の現状についてご報告させていただきます。市では、地震発生後すぐさまライフラインをはじめとした被害状況等の情報収集にあたり、災害対策本部の立上げ等、対応に努めてまいりました。今回、地震による児童、生徒のけが人等はなく、小中学校においては無事に保護者への引渡しが行えたとの報告を受けております。</p> <p>また、児童、生徒に限らず、市民の人命に関わるような被害は現時点では出ていないと聞いております。今後は、市民皆様の安心安全を確保するために、学校施設を含む公共施設等、建物の被害状況の把握や、その対応に取り組んでいくこととしており、関係機関と密に連携を図りながら進めてまいりたいと思っています。</p> <p>しかしながら、大阪府全体で見た場合、現時点では5人の尊い命が犠牲となっています。その家族や関係者の皆様の悲しみはいかばかりかと察するところであります。よろしければ、本日ご参会の皆様と謹んで哀悼の意を表し黙とうを捧げたいと思いますので、ご協力願います。ご起立願います。</p> <p>黙とう</p> <p>ありがとうございました。ご着席ください。</p> <p>それでは、本題である総合教育会議を進めていきたいと思っております。本日が平成30年度第1回の会議となります。昨年度は、学校再編整備に係る南中学校の休校に伴う課題、児童・生徒学力向上3ヶ年計画、教育大綱の改訂を案件に意見交換をさせていただいたところであります。今年度に入り、南中学校における活断層調査を行っている状況にあります。市長部局で取り組んでいる公共施設等におけ</p>

<p>総合政策部長</p>	<p>る劣化診断調査の取組みも進めている最中にあります。こうした状況を踏まえ、今般、教育委員会からの申入れがあり、学校適正配置に向けた今後の取組みについて、を案件に会議を開催する運びとなりました。本市教育環境整備にとって非常に重要な局面を迎え、議論を深めたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>なお、本日の会議につきましては、広報等でもお知らせしたいと考えておりますので写真撮影等をさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは次第の掲載案件に従って進めたいと考えます。教育長、お願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>先ほど市長から説明があったとおり、学校適正配置に向けた今後の取組みについて、を提案し、会議をお願いしたところ、今日このような形で開催いただき、ありがとうございます。市長から説明があったとおり、大阪北部の地震につきましては、日頃の学校教育で進めている防災教育に基づき、改めて学校でもやっていかなければならない課題も見えてきていますので、今後も引き続き力を入れて取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>また、四條畷南中学校については、活断層調査実施のため、本年4月から休校としております。</p> <p>平成29年度までのこれまでの教育委員会の取組みをご説明しながら議題を提案させていただきます。平成29年度には、防犯カメラの設置をはじめ、道路の路面標示、人的配置による通学路の安全対策、制服補助の実施など生徒、保護者の心的、経済的負担の軽減を趣旨に取り組んでまいりました。本年4月以降は、生徒、地域、保護者等からいただくご意見、ご要望に可能な限りお応えすべく、通学補助の実施やバス通学に係る環境整備に加え、現場教員による生徒への丁寧な関わりなど、円滑な転籍に向けた種々の取組みを進めてまいりました。</p> <p>われわれも考え得る限りの対応を行っていますが、ご意見もいただき、それらには、迅速に対応すべく努力してまいりました。</p> <p>学校現場からは、教育活動のなかで、違う学校の子どもたちが一つの学校に通うこととなったので、普段の年度当初でも課題が発生するなか、子どもたち同士のトラブルを聞いておりますが、学校生活の活性化や多くの仲間との交流は、良い教育的効果が見受けられるとの報告も受けております。校長からもそれぞれの学級通信で、</p>

教育総務課長	<p>子どもたちの作文紹介という形で前向きに頑張っている様子を窺い知ることができるとの報告もあります。</p> <p>しかしながら、さらに幅広く具体の意見を伺う必要があるので、転籍した生徒を含む四條畷中学校全体のより良い教育環境の推進と、今後の小中学校の望ましい再編整備の検討にあたって、6月末から四條畷中学校の生徒、保護者を対象に、学校生活に関するアンケートを実施したいと考えております。アンケートをとらせていただいた後、意見交換会の開催を考えております。</p> <p>この会議では、皆様にはアンケートに留まらず、意見交換会の方法等についても、広くご意見をいただけたらと思います。</p> <p>この後、教育委員会事務局からアンケート内容のご説明をさせていただきます。</p> <p>では、事務局、説明をお願いします。</p> <p>教育総務課から、四條畷中学校生徒、保護者を対象に実施する、平成30年度からの学校生活に関するアンケートをご説明させていただきます。</p> <p>資料、実施要領をご覧ください。</p> <p>アンケートの趣旨としては、本年4月の南中学校の休校に伴い、大半の生徒が転籍した四條畷中学校において、転籍後の状況を含む、生徒、保護者の意見を把握し、その内容をもとに、今後の南中学校のあり方や小学校再編を含む教育環境整備計画の方向性を定めるため、アンケートを実施するものです。</p> <p>実施方法は、四條畷中学校の全生徒723人とその保護者を対象に、マークシート方式のアンケートを、学校を通じて配布、回収し、教育総務課にて集計を行いたいと考えております。</p> <p>スケジュールは、6月28日にアンケートを配布し、7月6日に締切り、9日から10日の間で集計を行い、20日をめどに結果概要の公表を予定しております。</p> <p>続きまして、アンケート内容をご説明いたします。</p> <p>アンケート案をご覧ください。</p> <p>アンケートは、A4表、裏1枚の内容を、生徒、保護者、それぞれから回答いただくことを考えております。</p> <p>大きくは同じ内容のアンケートを配布し、生徒、保護者それぞれの視点から回答いただく予定ですが、保護者用アンケートには、通学の安全対策についての設問として、保護者用アンケートの設問13、14、15の追加と、転籍に関する不安に経済的負担の項目の追加として、設問22を予定しております。</p>
--------	---

<p>市長</p>	<p>以降、アンケート項目について、保護者用アンケートをベースに説明させていただきます。</p> <p>まず、設問1、2、3では、学年と小学校区、住んでいる地域の3項目について、お伺いしています。</p> <p>この3項目で、転籍校区や通学補助の支給地域に着眼したクロス分析が可能になります。</p> <p>次に、設問4から10では、現在の学校生活について、授業、学校行事、クラブ活動の面からの変化を伺っています。</p> <p>次に、設問11から22では、南中学校から転籍した生徒、南小学校、東小学校から四條畷中学校に進学した生徒を対象に、通学手段、通学時間、通学路に関する設問と、転籍に関する不安に関する設問を設けております。</p> <p>これは、昨年度実施の市民5,000人を対象とした、教育環境整備に関するアンケート調査において、教育環境整備計画のなかで不安に思う項目として、通学路の遠距離化や転籍による心理的負担を挙げる割合が高かったことを受け、現況をお伺いするため設けた設問です。</p> <p>次に、設問23では、全員を対象に、現状を踏まえ、今後望むことについてお伺いしています。</p> <p>こちらについては、四條畷中学校の今後のより良い教育環境の整備と、以降に続く小中学校再編整備の参考とすることを趣旨に設けた設問となっております。</p> <p>最後に、設問24が自由記載欄です。</p> <p>本来であれば、識字基本計画に基づき、アンケートにふりがな表記を行うルールになっておりますが、先ほど説明したスケジュールに則り、マークシート方式での機械集計を予定しているため、レイアウトの都合でふりがな表記は難しいと考えています。</p> <p>つきましては、ふりがなを必要とする生徒、保護者に対しては、学校と連携し、十分な対応を行ってまいります。</p> <p>以上がアンケート内容についてのご説明でございます。</p> <p>ありがとうございました。教育長から、四條畷中学校の723人の生徒そして保護者に対してアンケートを実施していく、それに加えてアンケートを踏まえた直接の意見交換を実施したいというご提案をいただきました。その後、教育総務課からアンケート内容を説明いただきました。教育委員の皆様とアンケートについて私も含めて議論できたらと思います。</p> <p>教育長がおっしゃったとおり、複数校の生徒が一校になってたく</p>
-----------	---

山本職務代理者	<p>さんの生徒が通われ始めている場合に、自らの意見を言える方とそうでない方がいらっしゃるのを考えると、全ての方を対象に思いを吸い上げることは、私は非常に良いことだと思います。</p> <p>活断層の調査結果の時期も見定めながら、スピード感を持って進めていただければと思います。</p> <p>教育委員の皆様でアンケートについてご意見、ご質問等がある方はいらっしゃいますか。</p> <p>アンケートについて、転籍して3ヶ月経つ頃の実施は、課題がクリアになるちょうど良い時期で実施すると言えます。一方で、長期的に、1年を過ぎる頃に生徒、保護者が問題を感じられる場合もあると思いますので、そういうご意見に対して教育委員会としてもフォローしていく必要があると考えます。できれば、1年後ぐらいに今後の教育環境整備の課題についてアンケートを行うことも必要ではないかと考えます。</p>
市長	<p>ありがとうございます。お示しのとおりと考えます。</p> <p>その他、ご意見はありますか。</p>
吉田委員	<p>アンケートの配布にあたって、生徒は学校でのアンケートになると思います。保護者は生徒が持ち帰るとい形になると思われませんが、中学生は保護者への手紙が届きにくい。保護者に頼まれても学校に届けるという作業に時間がかかると考えられますので、学校の先生方に努力いただいて、できるだけ回収率をあげて意見を吸い上げていただきたいです。</p>
市長	<p>ありがとうございます。お示しのとおりと考えます。教育長並びに教育委員会でしっかりと連携を取っていただけたらと考えます。</p> <p>その他ご質問等ございますか。</p> <p>ないようですので、アンケートについては以上にさせていただきます。教育長からもう一つ提案がありました、直接の意見交換について、教育委員の皆様から何かご意見等ございますか。</p> <p>今のところは開催するということですが、具体的にどうしていくかについて、ご意見はありますか。</p>
山本職務代理者	<p>保護者の意見交換会については、アンケートを実施する期間と並行して実施するのがいいと思います。生徒がアンケートを持って帰</p>

<p>市長</p>	<p>ってきて家庭で話をし、親子で考えられたこと、子と親の立場が違うので、議論していただいたことを意見交換するのが非常に大事だという気がします。</p> <p>アンケートと時期を合わせるのがいいのではないかと思います。アンケートと意見交換会を一体化し、意見の漏れがないようにすることが大事だと考えます。</p> <p>ありがとうございます。アンケートの送付と回収をする時期と被せるほうが保護者や生徒で議論のきっかけとなって、アンケートの回収率もあがって、多くの意見を吸い上げられるのではないかと考えてですね。その他にご意見ありませんか。</p>
<p>教育長</p>	<p>職務代理者の意見に追加させていただきたいのですが、私の考えでは、今回のアンケートの趣旨は、先ほど申し上げたとおり、今後のより良い教育環境の推進をめざすことです。意見交換会だけを開くのであれば、それだけに限られてしまいます。なかなか来られない方もおられるので、723人の方から広く前もって意見を聞くため、事務局から説明があったとおり、タイトな日程で厳しいのですが、アンケート調査はマークシートでさせていただくので、おそらく集計が早くできると思われます。それと並行した形で、なるべく7月初旬、中旬には意見交換会を実施してまいりたいと考えています。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>アンケートの回収にあたって配慮すべき点を話されていました。</p> <p>私は、アンケートにあたって、親子と同時にするので、子どもと保護者の意識が高まり、家庭における会話が大事になると考えます。アンケートの場合は、無記名で回収しますが、意見交換会の場合は個人の発言ができるので、個人が特定されることにある程度配慮が必要ではないかと思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>アンケートの配布と並行的に、教育長の言葉をお借りすると、補完的にという趣旨かと思いますが、保護者の方との意見交換という話がありましたが、生徒の皆さんとの意見交換はどうお考えですか。</p>
<p>教育長</p>	<p>以前に南中学校に市長が出向いて、当時の1学年の生徒と意見交換をされています。現在の子どもたちは休校に伴って四條畷中学校に転籍しております。子どもたちの意見でアンケートでは拾えない部分もあると思いますので、私が直接、生徒の意見を伺おうと考え</p>

市長	<p>ています。</p> <p>わかりました。ありがとうございました。</p>
吉田委員	<p>生徒の意見を聞きたいと思いますが、中学生になると放課後に部活動があります。放課後に意見交換会をしたいと投げかけたとしても、どれだけの生徒が集まるかが不安なところでもあります。放課後となると、意欲的に参加される生徒はどのくらいの参加率になるのかなと思いました。</p>
市長	<p>当時は確か卒業シーズンで、午後の授業の時間帯を使って生徒の皆さんと意見交換ができました。今回は時期的なものとは部活動についてはどういう状態でしょうか。</p>
教育長	<p>日程は、この後、学校と調整しながら授業や子どもたちの学校生活に支障がない形で進めてまいりたいと思っておりますが、アンケートの集計をもとに、できるだけ早い時期、具体的に言えば7月上旬に設定できればと思っています。</p>
市長	<p>ありがとうございました。その他、ご意見等ございますか。</p> <p>今、おっしゃった内容を整理させていただくと、まず、アンケート調査に関しては、今回の調査は、転籍から3ヶ月程度の短期的な課題がわかるけれども、1年くらい経った少し期間を置いた時に見える課題のアンケートを、今後、教育委員会で検討することと、アンケートの配布にあたっては、生徒の場合は教室で回答すると回収率が高いけれども、保護者の皆様の回収率を上げるため、学校と教育委員会との連携を密にさせていただくところと思います。</p> <p>意見交換会については、アンケートの補完というか、アンケートと意見交換会を併せてたくさんの方々の意見を聞くという趣旨と思います。意見交換会の対象は、アンケートの対象と同じ保護者と生徒で、時期については、補完するという考え方からもアンケートと同時期に実施し、なるべく7月初旬、中旬頃で、特に生徒については参加率が上がるようにするけれども、授業に支障がない形で、というご意見だったと思います。</p> <p>その他、追加のご意見はありますか。</p>
小田委員	<p>南中学校が休校になって、四條畷中学校で皆さんどうしておられるのか、馴染んでおられるのが気になるところだったので、今の時</p>

市長	<p>期にアンケートしていただくのはとても良いと思います。</p> <p>生徒の意見交換会の話が出たのですが、アンケートの下部にご意見があれば記入してくださいという欄を結構とっていただいでいて、希望とか意見があればきっと生徒は書いてくれると思うので、期待したいと思っております。</p>
市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他追加のご意見がなければ、アンケートと意見交換会については終わらせていただき、次に進めたいと思います。</p>
教育長	<p>私が行って、小田委員もおっしゃった意見も含めたアンケートの集計を持って子どもたちの意見を聞きたいと思っています。その際、予算に絡む内容もあると思うので、市長も一緒によろしいでしょうか。</p>
市長	<p>僕としては一緒に行くものだと認識していたので、当然、教育長と一緒に動かさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。教育委員会からの提案で、しっかりと意見を聞かせていただいたなかで、今後を見極めたいと思っています。</p> <p>意見交換会がしっかり機能していくには、教育長、教育委員会と私がいるほうが種々意見交換できると思います。</p> <p>よろしければ次に移ります。</p> <p>教育長からお願いします。</p>
教育長	<p>それでは付け加えまして、もう1点お話をさせていただきます。</p> <p>今年度の最大の課題は南中学校のあり方を含む学校再編の方向性を見出すことと捉えています。これまで、昨年は、教育環境整備に関するアンケート調査を実施し、9月に取りまとめた結果を公表し、現在は、取組み過程にある公共施設劣化診断調査及び南中学校敷地内活断層調査があり、その結果が全て揃うのが7月末と聞いています。</p> <p>それらに加え、先ほど議論いただいた四條畷中学校における生徒、保護者のアンケート結果を踏まえ、今後の南中学校のあり方を含む小学校のあり方を検討するため、該当地域の市民方々との意見交換会に臨みたいと考えています。</p> <p>対象としましては、当該地域の今後入学を予定している未就学児</p>

<p>教育部上席主幹兼 学校教育課人権教 育・教科指導担当 課長兼教育センタ ー長</p>	<p>の保護者を含めた四條畷小学校、南小学校、東小学校の保護者を想定しています。また区長をはじめとする地域の方々も対象と考えています。</p> <p>また、今回の意見交換会の方法として、過去の教訓から1案のみを示すのではなく、各調査や意見交換の内容を要素に、複数の案を抽出のうえ、それぞれの案のメリット、デメリットを記載した資料を複数抽出し、お示しし意見交換会に臨む所存です。</p> <p>現状におきましては、複数案の抽出について考えられることを提示したいと思います。</p> <p>この後、事務局より7案についての説明をさせていただきます。意見交換会の方法や7案の内容についても議論させていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。</p> <p>小学校再編に係る検討資料をご覧ください。</p> <p>まず、この7案作成過程におきましては学校との意見交換をはじめとして、市長部局施設再編室とも連携を図りながら案を作成してまいりました。特に学校再編にあたり課題となることを整理しつつ、一覧にまとめております。</p> <p>具体的に、1案から7案まで順次、説明いたします。</p> <p>1案をご覧ください。南中学校は廃校、四條畷小学校は存続、南小学校と東小学校の統合校を南中学校敷地に設置する案です。3つの課題に対しては、すべて解消される見込みです。</p> <p>この案のメリットは、より身近な学校に通学できる、過去からの学校間交流が継続できる、3つの課題の解消につながる、163号南側JR東側に小学校があり、防災拠点となり得ること、南中学校の改修工事であれば工事が少ない。</p> <p>またデメリットは、工事期間が長引くため、しばらくの間南小学校と東小学校の小規模校が続く、活断層が学校にあれば心的負担が続くとし、詳細な検討が必要としています。</p> <p>2案をご覧ください。南中学校を廃校、四條畷小学校は存続、南小学校と東小学校は畷小学校に統合する案です。3つの課題に対しては、すべて解消される見込みです。</p> <p>この案のメリットは、四條畷小学校において、多くの児童と接することからより自他を認める心の醸成や切磋琢磨できる場面が増える、ソフト面、ハード面に及ぶ1校あたりに係る予算が拡充できる、3つの課題解消につながる。</p>
---	--

またデメリットは、現状より学校が遠くなる、163号南側でJR東側に学校がなくなるとしています。

3案をご覧ください。南中学校と南小学校と東小学校を統合し、南中学校敷地に義務教育学校または小中一貫校を設置する案です。3つの課題に対しては、義務教育学校の中学校部分が小規模校化しているのので、実質の小規模校解消とは言えません。

この案のメリットは、小中の段差解消、より身近な学校に通学できる、163号南側JR東側に学校があり防災拠点となり得ること、ソフト面、ハード面に及ぶ1校あたりに係る予算が拡充できる。

またデメリットは、南中学校区の転籍、現在、四條畷中学校に転籍している生徒を戻すことになること、実質の小規模校の解消にならない、教職員の免許、両方の免許を持たなければならない教員の配置、活断層が学校にあれば心的負担が続くとし詳細な検討が必要となります。

4案をご覧ください。南中学校は廃校、南小学校と東小学校を廃校し、南小学校敷地に新小学校を設置する案です。3つの課題に対しては、すべて解消される見込みです。

この案のメリットは、過去からの学校間交流が継続できる、教育センターとの連携がより図れる、南小学校の改修であれば工事が少ない、ソフト面、ハード面に及ぶ1校あたりに係る予算が拡充できる、3つの課題解消につながる。

またデメリットは東小学校から踏切を超えなければ通学できない、通学路変更に伴う新たな安全対策が必要、東小学校区は、畷小学校区より遠くなるとしています。

5案をご覧ください。将来の人口増を見据え、南小をそのまま小規模のまま存続させ、東小学校は畷小学校に統合、南中学校は廃校という案です。3つの課題に対しては、南小学校が小規模校化しているのので、小規模校解消とは言えません。

この案のメリットは、より身近な学校に通学できる、ソフト面、ハード面に及ぶ1校あたりに係る予算が拡充できる、工事が少ない、小規模校としての特色が作れる。

また、デメリットは南小学校の将来について結論を先送りすることになること、当該地域の人口増加策が急務としています。

6案をご覧ください。南中学校と南小学校、東小学校を廃校し南

<p>市長</p> <p>山本職務代理者</p>	<p>小学校敷地に義務教育学校または小中一貫校を設置する案です。3つの課題に対しては、義務教育学校の中学校部分が小規模校化しているので、実質の小規模校解消とは言えません。</p> <p>この案のメリットは、小中の段差解消、より身近な学校に通学できる、163号南側JR東側に中学校があることから防災拠点となり得ること、教育センターとの連携がより図れる。</p> <p>またデメリットは南中学校区の転籍、実質の小規模校の解消にならない、教職員免許について、となっています。</p> <p>最後に7案をご覧ください。将来の人口増を見据え、南小学校と東小学校も存続し、南中学校については再開校をするという案です。3つの課題に対しては、校舎は現状維持のため、校舎の老朽化解消につながりません。また、南小学校、東小学校が小規模校化しているので、小規模校解消とは言えません。</p> <p>この案のメリットは、より身近な学校に通学できる、163号南側でJR東側に中学校があることから、その地域に防災拠点として中学校があるということになります。</p> <p>またデメリットは、南中学校区の転籍、小規模校の存続、老朽化対策の長期化が挙げられます。</p> <p>以上、7案をお示しいたしました。</p> <p>あわせて、表の下段にもお示ししていますが、どの計画に関わらず、四條畷小学校、忍ヶ丘小学校、くすのき小学校の大規模改修は喫緊の課題と教育委員会として認識していますので、併せてこちらにあげさせていただきます。</p> <p>6案のデメリットに関しまして、運動場が狭小のため、体育やクラブ活動に支障がある、を漏れておりました。申し訳ありません。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、事務局から7案それぞれの概要とメリット、デメリットの説明がありました。</p> <p>事務局から7案の説明があったのですが、そのなかにある、義務教育学校、小中一貫校については、実は教育委員会でも十分な議論がされていないと認識しております。本市の教育体制として、義務教育学校が相応しいのか、小中一貫校が相応しいのか、7案の校地の配置とはまた別に議論しなければならないと思っています。</p>
--------------------------	---

<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。 建物の配置と別に議論が一定必要であるということですね。 その他、委員の皆様からご意見はありますか。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>どの案に対しても、JRと163号が危険な認識があると思うので、そちらをできるだけ使わないようにということを私は考えておりました。</p> <p>どの案にしても、右下の部分の南中学校敷地がなくなったときに、防災拠点としての学校がなくなるということは近隣住民にとって不安だと思うので、そこも考えながら議論をしてきたところです。跡地となったときに、他の使い道、いろんなことに使えると思うのですが、防災拠点、市民の方が使える施設という考え方が議論できればと考えています。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>1点めは、通学に関わるJRや国道の横断に係る安全対策と思います。</p> <p>2点めは、防災拠点、避難所を含むところと思います。当然、小中学校の再編整備を考えたときは、教育委員会として学校の議論をしていただいていると思いますが、市長部局、施設再編室を含めて、学校教育における学校配置と連動した形で、仮に学校の配置がこうなった場合は、防災について関連があり補完して市として考えなければいけないので、議論の俎上にのっていると思っています。</p>
<p>小田委員</p>	<p>6案のデメリットに、JR片町線を越えなければいけないということを書かなければいけないと思います。この案にもデメリットに入ると思います。</p>
<p>市長</p>	<p>そうですね。1から7案に関して、JRをまたぐものはすべてそうかなと思います。</p>
<p>小田委員</p>	<p>現状で既に越えて通学されている場合は、保護者の理解もあると思いますが、新たにとなると安全面を考えないといけないと思います。</p> <p>敷地を防災センターにという考えもあるかと思いますが、もし人口が増えた場合、かなり長期を見据えて小学校を作るというような可能性も考えておいていただきたい。</p>

<p>市長</p>	<p>現時点で学校の配置が定まらないなかで、具体的な施設は明言できないところです。当然、地域の皆様との意見交換、公共施設の再配置の考え方もあるので、並行してやっていくとお答えすることと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今、7案に付加すべきご意見等をいただいておりますが、はじめに教育長から説明いただいた説明会の対象者を整理したいのですが、四條畷小学校、南小学校、東小学校に通われているまたは今後通う可能性がある未就学児を含む保護者の皆様に加えて、地域の皆様という理解でよろしいでしょうか。</p> <p>児童に関してはどのような考え方でしょうか。</p>
<p>教育長</p>	<p>小学校の子どもたちは、自分たちの意見を持って考えたことを表出することも指導の中に入れていますが、中学生と違って、この件は大きな今後のことに関わってくるので、まずは保護者の方、地域の方々、大人の人たちに抽出した案をご判断いただきたい、意見を聞かせていただきたいと思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>今後どの場所で開催するかにもよりますが、保護者の皆様と一緒に児童の方たちが来るというのほどのようにお考えでしょうか。</p>
<p>教育長</p>	<p>平成24年度に行われた説明会でもそのような光景があったと聞いております。考えを絞らせていただいて、まずは大人の方たちに判断いただくなかでより良い教育環境を考えていきたいと思うのです。</p> <p>他の委員の皆さん、いかがでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>教育長からは、基本的には保護者の皆様の参加でということでしたが。</p>
<p>小田委員</p>	<p>意見交換会ですが、先ほども出ましたが、来られない保護者の方や地元の方もいらっしゃるので、1回だけに限らず、平日の夜または休みの昼など、回数を2回ほどすればいいかなと。意見をできるだけ吸収して、この図はわかりやすくまとめてあるけれども、説明がほしいという保護者、地域の方々がいると思いますので、回数をよろしく願いいたします。</p>

市長	<p>今のは対象者ではなく回数に関するご意見ですね。複数回必要ではないかということですね。</p>
山本職務代理者	<p>対象者は、小学生あるいは小学校に入る前のお子さんを対象とするのは、中学生のように意見を聞くのは困難だと思います。学校配置の条件等を全て子ども自身が判断するのは難しいものがあります。ただ、保護者の方に連れられて説明会に来られて、何か意見を持っておられて発言される、意見を述べられることを拒否する必要は全くないと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。種々ご意見をいただいています。2委員から対象者についてご意見を伺っていますが、3委員から対象者についてご意見を伺いたいと思います。</p>
吉田委員	<p>時間にもよると思います。夜の開催で、子どもを一人で家に残しておけないという方であれば連れてこられると思います。子どもにも一緒に聞かせるべきだという保護者もいらっしゃると思います。朝昼夜関係なく、その方の考え次第で連れてきてくださる方には一緒に聞いていただいて、家でお話しされて納得して判断されるのがいいと思います。</p>
竹内委員	<p>私も似たような意見ですが、子ども主体、子どもたちの気持ちを大事にしながら進めてほしい。子どもとも一緒に話を聞いて、子どものできる範囲で親と相談しながらというのもあるので、全部ではなくとも可能な限り親子参加を推奨していく、というのをPRするのもいいかと思います。</p>
小田委員	<p>地域の方にとっても大事なことですので、気にかかっておられる問題だと思っています。四條畷小学校、東小学校、南小学校区関係なく、市民の人でも、周りに住んでおられるPTA、老人会、自治会の方でもお話を聞きたいと思われる方がおられると思いますので、説明会があるというお知らせをしていただけたらと思います。学校の先生から連絡もあると思いますが、地域の方にもきちんとお知らせするようよろしくお願いします。</p>
教育長	<p>委員の方々からご意見を聞かせていただきました。方法もあると思いますが、対象を絞ったなかで言えば、お子さんを連れてきても</p>

	<p>という意見もあったと思います。小田委員の意見にもあったように、開催の時間帯にもよるものと思います。</p> <p>私が提案させていただいたのは、7案を抽出した案を広く知っていただいて意見交換をする、1本に絞るのではなく、広く意見を聞くなかで、保護者同伴で、お子さんの意見を帰ってから話し合っただくということであれば、それも一つの効果とっております。</p> <p>それについて付け加えさせていただきます。</p>
市長	<p>私が聞き漏らしたのかもしれませんが、現時点で時期的な考えは教育委員会としてはあるのでしょうか。</p>
教育長	<p>現在のところ、先に四條畷中学校の生徒、保護者のアンケートを取らせていただいたうえで意見交換会を7月初旬から中旬に、そのあとアンケートの集計もできてくると思います。それと、はじめにお話しさせていただいた昨年度のアンケート、活断層調査も踏まえた形でいけば、もう少し後になると思います。</p> <p>7月中は難しいと思っています。活断層調査の結果が出るのは7月末と聞いていますので、3つの調査が出てこれらをもとに7案を絞らせていただいてからになるので、8月になると思っています。</p> <p>全ての調査が出そろってから日程を調整させていただきたいと思っています。</p>
市長	<p>現時点で話をまとめさせていただきますと、時期は今の話を受けると、8月中をめどに、対象者は未就学児を含む四條畷小学校、南小学校、東小学校の保護者の皆様方で、お子さんと来られることは構わないことに加え、地域の皆様方も対象に、複数回実施するのがいいのではないかと。また、その際に、周知をしっかりと対象者の皆様方に伝わるようにしていくべきではないかと。説明会に持っていく内容は、四條畷中学校でのアンケート調査の結果、南中学校の活断層調査の結果に加え、今回のこの7案が掲載された資料等を踏まえて、オープンな意見交換をしていくことでよろしいでしょうか。</p> <p>それに加えて、私から申し上げたいのが、7案が示されているA3横長の資料ですけれども、まず1点、小規模校の解消が書いてありますが、老朽化とか校区のねじれは比較的わかるかと思いますが、小学校と中学校で小規模校の定義が違うと思うので、それを初めて見た地域の方にもわかるように、どこかに注釈というか、記載いただき、誤解を受けないようにすることと、事務局から説明があった、四條畷小学校、忍ヶ丘小学校、くすのき小学校のいずれにせよ重要</p>

	<p>と考えている大規模改修ですが、それぞれ1案、2案、3案の下に記載すると、その案に付随しているという認識になってしまうと思うので、可能であったら横長にさせていただいたほうが誤解は招きづらいかと。もう少し工夫していただきたい。</p> <p>また、われわれ市長部局、予算を預かる者として、これだけ整備内容が記載されているのであれば、一定、概算でも費用が導き出せないかと。やはり、市民の皆様にとって、ざっくりとでもどういう費用がかかるのか理解いただくこと自体は議論のプラスになると思いますので、可能であれば資料として意見交換会に持ち込む際には予算の試算を付けていただきたいと思います。</p> <p>加えて、7案を地域の方々、保護者の皆様に示していくところですけれどもその後の展開は。まず8月中に7案を示して、今後はどうのように考えておられますか。</p>
教育次長兼教育部長	<p>何点か事務局として確認させていただきますが、平成32年4月に学校再編整備が完了することから、教職員人事も含めて今年度中には一定の判断、方針を定めるべく、スケジュールを示させていただこうと考えています。四條畷中学校の生徒、保護者にアンケートをさせていただいた後に意見交換、今回示させていただいた7案を、過去の3つの要素を含めて一定の数に絞らせていただきます。7月までに意見交換までを終えて、活断層調査、劣化診断調査等の結果が出てきますので、それらを総合的に勘案して絞らせていただきます。その後、再度、総合教育会議を開いていただきまして、市長部局との協議のうえ、絞った内容をもとに、さきほど教育長が申し上げた3校区に出向いて、3案程度についてメリット、デメリットを示しつつ、一定の意見をいただいて、最終的には一つの案に絞っていく、これらを基本的には今年度上半期中に行います。</p>
市長	<p>基本的には教育長にお話しいただいた話に補そくいただいたと思います。今後の調査結果等を踏まえて、複数案を抽出するための総合教育会議を行う必要があるものの、現時点で7案出ておりますので、7案とも意見交換会で示すという理解でよろしいでしょうか。</p>
教育次長兼教育部長	<p>7案を示させていただいた後、3案程度に定めるうへの過程も併せて説明しようと思っています。</p>
市長	<p>実際のところ、当日、意見交換する情報量は今の話で非常に種々あると思いますので、議論していくうえで、確かに過程も必要かと</p>

<p>吉田委員</p>	<p>思います。</p> <p>開催地域、時期、回数、対象、内容を議論させていただいたところですが、付け加えてのご意見はありますか。</p> <p>私は四條畷中学校の保護者ですが、下校の時に緑のベストを着てシルバー人材センターの方たちにも見守っていただいています。毎日暑かろうが寒かろうが立っていただいています。保護者として感謝しております。なので、小田委員に言っていただいたように、そういった方たちにも意見交換会に来ていただけたらと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございます。事務局として検討いただけたらと思います。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>再編整備に関する方針も当然重要なところですが、私の前任校であるくすのき小学校でも、プールなど老朽化している部分があり、子どもたちにより安心、安全な環境づくりをしていくために既存の学校の改修工事についても検討してほしいと思っております。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>このあたりは全体像が見えていくなかでの予算取りと関連してくると思いますが、当然われわれとしても、既存の資料下部に記載されている四條畷小学校、忍ヶ丘小学校、くすのき小学校について把握しております。</p> <p>その他何かありますか。</p> <p>意見交換会に関する事、あるいは検討資料に関する事について、ご意見がなければ次に進めたいと思います。</p> <p>それでは続いて次第に沿って、その他に移らせていただきます。</p> <p>その他についてございますか。</p>
<p>教育部次長兼学校教育課長</p>	<p>私から市教育委員会において進めております、教職員の働き方改革に係る各取組みについて報告いたします。</p> <p>昨今の社会情勢及び文部科学省からの提言等に鑑み、学校教職員の勤務の適正化は本市においても喫緊の課題と言えます。</p> <p>そのなかで、今年度本市において取り組む教職員の働き方改革に係る取組みについて3点報告させていただきます。</p>

まず、夏季休業中の学校閉庁日の試行実施でございます。

全国的な学校現場における働き方改革の流れを受けて、その方策の一つとして閉庁日を設け、学校管理職を含めて、教職員が休暇を取りやすい環境づくりに努めること、及び教職員が時間と気持ちにゆとりを持ち、本務である授業づくりを推進し、児童生徒としっかりとつながり、教育の質の向上を図ること、この2点を主旨として、平成30年8月13日（月）から8月15日（水）の3日間で試行実施いたします。

具体には、管理職を含む教職員及び学校勤務の市職員は、年休等の対応といたします。また、小学校のふれあい教室は、通常どおりの開室、各種団体による体育館等施設利用については、試行実施に鑑み、自粛の協力依頼を行うものとしております。

加えまして、保護者からの緊急連絡がある場合は、市教育委員会学校教育課での対応とすることとしており、それらの内容を記載いたしました文書を市教育委員会から保護者に向けて6月7日に各校を通して配布いたしました。

なお、今年度は、試行的な実施と位置付けておりますので、次年度以降の実施については、各校からの意見を踏まえ、検討してまいります。

次に、出退勤管理システム試行導入でございます。

この導入の主旨といたしまして、教職員の勤務状況を適正に把握すること、勤務状況を可視化することにより、働き方についての意識の変革を促す、勤務実態を把握し、事務の効率化、業務の平準化及び業務分担の見直しを図ること、教職員の健康の保持、増進に努めること、勤務時間の情報を介し、個々の働き方について、管理職とのコミュニケーションを強化すること、以上5点を挙げて、6月18日より試行実施しております。

運用として、各校に1台配置いたしましたICカードリーダーをパソコンに接続し、教職員が管理する専用カードをかざし、出勤時刻と退勤時刻を打刻する仕組みとなっております。専用カードは学校に勤務する市職員含めた教職員に配布いたします。

この打刻により、毎日の出退勤時間が記録され、各々の勤務実態が可視化でき、学校管理職は所属教職員の時間外勤務など勤務状況を的確に把握したうえで、その状況に応じて面談等を通して、当該教職員の勤務の在り方への助言や校内業務の平準化等を行い、学校教職員の勤務の適正化につなげたいと考えております。

	<p>最後に校務支援システムのモデル導入でございます。</p> <p>社会全般において情報化及びICT機器の普及が急速に進むなか、これまでで書きやアナログ管理していた学校現場での事務作業において、校務支援システムを導入することにより、事務作業の効率化を図り、教員の働き方改革に資する取組みとして検証を行うものでございます。</p> <p>具体には、児童生徒の成績処理や通知表作成、出欠状況の管理等について、システム管理を行うべく、この度、田原小学校と田原中学校にモデル導入いたしました。これによる効果について、2校からの聞き取りやアンケートを通して、教員の作業効率がいかに図られたかを検証し、次年度以降、市内の小中学校への導入に向けて検討する予定でございます。</p> <p>本市の学校においては、未だ、全教員にパソコン配置ができていない状況にございますが、ICT機器を効率的に活用することにより、教員の働き方改革及び勤務時間の適正化につなげてまいりたいと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
市長	<p>ただいま報告したことについて、何かご意見等がありますか。</p> <p>私から1点。</p> <p>市長への意見箱というシステムがあり、日々複数件意見をいただいています。教育委員会に対するご意見、ご要望もあり、社会情勢の変化で先生たちの働き方改革が取り沙汰されているなか、保護者さんたちも社会情勢のなか、多様な働き方の実態があるのを受けて、これまでの旧来の学校におけるルールや慣例が今の働き方に合致しない、社会情勢による歪みに関する意見をいただいています。</p> <p>当然先生の働き方改革も必要ですが、保護者皆様方の働き方が変わっていることも教育委員の皆様もぜひ関心を持っていただいて、教育委員会でもずっとそのままでいくのか、変化に応じて対応を変えるのか、定例会でもしっかりご議論いただきたいと思っております。</p> <p>その他に何かありますか。</p>
施設再編室長兼課長	<p>四條畷中学校、四條畷西中学校施設整備工事の進捗状況についてご報告します。</p> <p>まず、四條畷中学校におきましては、小中連携棟新築工事については、工事中で、進捗率は95%、最終の仕上げ工事を行っている段階です。竣工予定は7月末を予定しています。以下、体育館非構</p>

	<p>造部材耐震化工事、クラブ活動等倉庫新築工事などは完成しております。</p> <p>続きまして、四條畷西中学校におきましては、校舎棟大規模改造工事は完成しています。体育館棟改築工事は工事中で、進捗率は78%、体育館の床張り及び内装工事を進めております。竣工は9月末を予定しています。プール棟改築工事、トイレ改修工事はそれぞれ完成しています。</p> <p>以上簡単ですが、報告とさせていただきます。</p>
市長	<p>中学校施設整備工事の進捗状況について報告がありましたが何か意見等ありますか。</p> <p>その他、ご意見等ありますか。</p> <p>ないようなので、本日種々ご議論あったと思いますので、事務局で整理等いただきたいと思います。</p>
教育次長兼教育部長	<p>市長から7案について精度を高めていくことと、費用についても試算すべきとのことですが、これについては教育委員会だけでは算出できないので、市長部局にもご協力いただければと思います。</p>
市長	<p>その形で進めていきたいと思います。</p> <p>その他ご意見がないようなので、はじめに申し上げましたが、今回の大阪北部地震を受けて、児童、生徒の安心、市民皆様の安心を確保するうえで、調査、検討にあたっておりますので、引き続き委員皆様方のご協力をお願い申し上げまして、私からは終わりたいと思います。ありがとうございました。</p>
総合政策部長	<p>それではこれを持ちまして、平成30年度第1回総合教育会議を終わります。</p>